

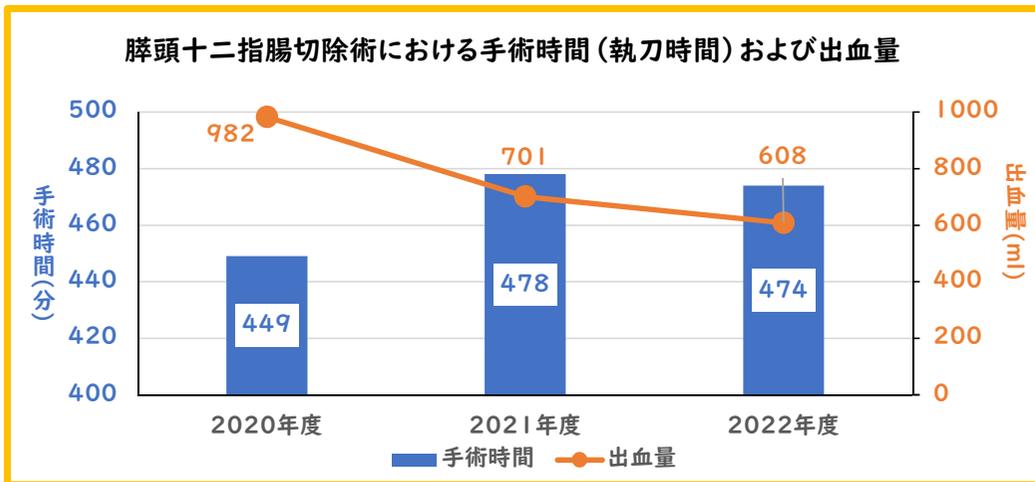
16 膵頭十二指腸除術における手術時間（執刀時間）および出血量

消化器外科

◆解説◆

癌手術の治療成績評価は手技的安全性、腫瘍学的安全性の観点により行われます。手術時間、出血量は手技的安全性を評価する客観的かつ簡便で、全ての癌手術に共通する重要な項目の一つです。臨床指標の項目としてこの2点は、実際に当院において標準的な診療が行われているかを表現する指標と考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

膵頭部癌や胆管癌などに対して膵頭十二指腸切除術を行っており、消化器外科の手術の中では、最も大きな手術の一つです。最近では、周囲の血管への浸潤を伴う症例や術前化学療法を施行した症例など、より進行した症例に対する手術が増えています。

より進行した症例では手術時間が延長しますが、術後の合併症を減らすために安全で丁寧な手術を心掛けて行っており、出血量は年々減少傾向です。

今後も安全性と根治性を追求した手術に取り組んでいきたいと思ひます。

◆定義◆

当院での膵頭十二指腸切除術の一件当たりの平均手術時間（執刀時間）および出血量を年度毎に比較しています。